

会 議 記 録			
会議の名称	京都スタジアム（仮称） 検討特別委員会（第22回）		会議場所 全員協議会室
			担当職員 鈴木
日 時	平成30年9月18日（火曜日）	開 議 午後 1時30分	
		閉 議 午後 2時25分	
出席委員	◎木曾 ○藤本 三上 山本 平本 福井 齊藤 菱田 馬場 明田 石野 <湊議長> （欠席：小島）		
執行機関出席者			
事務局出席者	片岡事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、池永主任、山末主事		
傍 聴	市民2名	報道関係者0名	職員1名 （まちづくり交通課 元古主幹） 議員3名 （酒井、小川、並河）

## 会 議 の 概 要

13:30

### 1 開議（木曾委員長あいさつ）

<木曾委員長>

小島委員から欠席届が提出されている。

### 2 日程説明

[事務局長 説明]

### 3 要望について

（1）京都スタジアム（仮称）の交通処理及び利活用について

<木曾委員長>

要望者1名から意見陳述の申出を受けている。意見陳述の機会を設けることに異議はないか。

（異議なし）

<木曾委員長>

異議なしと認め、要望者の意見陳述の機会を設けることに決定した。

[要望者（意見陳述者（松尾寛治氏）発言席へ）]

13:31

[要望者（意見陳述者（松尾寛治氏） 説明（要旨）]

1 スタジアムが本当に利活用されるのか心配している。駐車場が具体的に示されていない。京都府の事業評価調書では「亀岡運動公園の駐車場を活用して車で来場する観客をシャトルバスで輸送するなど、臨時駐車場の確保について亀岡市と連携して適切な対策を検討・実施する。」とされている。一方、保津川左岸の保津橋上流部では、駐車場としか考えられない施設ができています。

これが駐車場であれば、府道の亀岡園部線でなく、亀岡市道が使われることとなるが、地元調整はできているのか。利用者は保津橋を渡ることとなるので、私はこの駐車場は使われたいと思う。あの場所は河川管理者の転用許可が必要だが、調整ができているとは思えない。有料か無料かも決めなければならない。

- 2 保津川市民花火大会では、篠町の平和堂、コーナン、コンビニ等の駐車場が満車となっていた。北古世西川線は両側に駐車車両があり、歩道は見物客でいっぱいであった。これを見ると、スタジアムに来る客の車は、篠町の事実上無料の駐車場に止められ、馬堀駅でJRに乗りスタジアムに向かうことが多くなると思う。北古世西川線の交通規制は、スタジアムの供用開始には間に合わないと思う。
- 3 サッカーシーズンになれば、亀岡市は交通の現況調査をするとされていたがどうするのか。現実的な対応ができないのではないか。国道423号の代替路線を考えておくべきである。交通の現況調査については、議会として明らかにさせるべきではないか。北古世西川線が供用開始となり、車の動きが非常に複雑になっている。シミュレーションをするように言ってきた議会として、明らかにさせるべきである。
- 4 京都府はイベントで「3万人は入ることができる」「フリーライミングの国際試合ができる」と言っている。このような発言について、亀岡市は抗議すべきだと考える。京都府は、西脇知事になってから、ある訴訟の口頭弁論で、車の利用者を2分の1とする資料を提出されている。そうすると1万5000人であり、1台に3人乗るとしても5000台となる。調査をお願いしたい。
- 5 京都サンガF.C. がJ3に転落したらどうするのが大事となる。その条件のもと、どのように利活用していくのか、亀岡市民に説明する義務がある。参考資料のとおり、京都府知事に提案した。スタジアムの利活用は亀岡市の盛衰に関わることである。

13:42

[質疑]

<藤本副委員長>

大会の役員を入れて700台になると言われたが、どういうことであるのか。

<要望者>

3万人入ると言っている。車利用は半分として1万5000人である。1台に3人乗るとして計算しても5000台となる。3000人入るとした場合、半分とすると1500人となる。1台に3人乗るとすると500台となり、大会役員を含めて700台になるということである。

<三上委員>

利活用の問題と交通処理の問題である。保津川左岸や民間の駐車場を利用するという事は、非現実的だと言われることについて、もう少し説明いただきたい。

<要望者>

無料の駐車場を見つければ、みんなそこに止める。私は最低でも駅から800メートルは必要だと思っている。ゆったり次の電車を待ちながら歩く方が、危

険性が減り、警備員も少なくできる。駐車場問題がややこしくなる。私なら京都市から来て、馬堀駅の近くに車を無料で止めて、亀岡駅まで20分歩く。一番事情を知っている亀岡の人が、どこに専用駐車場を設けるかを本気で考える必要がある。交通シミュレーションは、いつのタイミングで実施するのか。具体的にどこで実施し、スタジアム特別委員会でどうすべきかを調査していないことについて疑問に思う。

<三上委員>

要望書の中の利活用の問題について、ジムとして使うこととされているが、しっかりとした根拠は持っているのか。

<要望者>

スタジアムの設計図面を見て、何人かに相談した。教育行政の責任者や建築の人にも聞いている。図面を見ると、柱と柱の間隔は8.5メートルとなっている。京都スタジアム(仮称)の業者は、壁でもたせるという基本設計をしておらず、柱で支えている。壁をとってしまえば、50メートル、100メートルとすることができる。亀岡が全国で勝てるものは良質な水しかないと思う。風力発電を調査し環境にやさしくして、アユモドキを保全し、ジムをやれば最高ではないか。右京区、西京区を合わせると、フィットネスの人口はとんでもなく多い。地方公共団体がジムをやるとなると、民間との関係があるので、保健師等を入れて健康増進を行うという大義名分をつけてはどうか。神戸のスタジアムにはジムがあるが、試合では3万人を集めるので、その際にはジムは閉めている。私は十分に勝算があると思っている。

<明田委員>

要望の理由5、京都サンガF.C.がJ3に転落するとしている根拠は何か。

<要望者>

サッカーでは若手の有望な選手が活躍しなければ、上に上がれない。稲盛氏の時には毎年赤字が4~6億円出ていたが、全部補てんされていた。選手の構成や年俸をみると当然である。私は10年前からわかっていた。これまでいた若手のすごい選手は、海外やJ1のトップチームに行った。私はサッカーを見ているのでよくわかる。

<馬場委員>

一時、ラグビーワールドカップに使うとされていたが、所見は。

<要望者>

私はラグビーファンであり、神戸での試合も見に行った。国際試合では3万人が集まり、対戦チームや観客はホテルに泊まる。ニュージーランド等の選手が桜のジャージを着るために、日本にやってくる。一度、4~5時間前に見に行っていたきたい。

<馬場委員>

高校の試合を花園で見ても、交通の問題がある。

ラグビーでは体をぶつけ合い、スタジアムが傷むがどう考えているのか。

<要望者>

最近のラグビーは戦術が変わってきている。昔はスクラムでぶつかる戦法が主流であった。日本には世界最高クラスのキッカーがいる。そのような選手が蹴るのであればよいが、大体の選手はキックが下手である。ラグビーボールは楕円でどこに飛んでいくかわからない。ボールがスタンドに入るので危険であり、

私は撮影するので2列目に座るようにしている。

<馬場委員>

国道423号は通行止めされていて、枚方亀岡線は交互通行となっている。京都縦貫道の篠インターだけを頼ると、とんでもないことになる。旧信長書店のところに、なぜ京都府は道路を建設しないのか。

<要望者>

並河蚊又線の市道認定は大失敗だと私は思う。京都府の職員は、あの道は延ばすべきだと言われるが、都市計画区域の関係で、当時は都市計画事業に入れられなかったため延ばせない。篠インターの問題としては、京都府にも金がなく難しい。中矢田篠線を延ばすのも1つだと思う。枚方亀岡線の交差点改良については、きちっと国土交通省に事前に話をする必要がある。交差点改良をすれば、篠インターのつながりもよくなる。どうするかを考えることが大事である。市がその気にならなければ話にならない。

<齊藤委員>

整合性がない話がある。ご自身が観戦に行かれるときは早くに家を出られる。福知山マラソンでも駐車場から出るのに3時間かかるが、行きたい人は二度と行かないということにはならない。提案されたジムについても、自分の思いをぶつけられているようにしか思えない。

<要望者>

混雑が危険にならないように、どう整理するかである。私は5時間前に行くが、5時間前に行けない人がたくさんいる。いろんな場面を想定しなければならない。

<齊藤委員>

個人の事情は色々ある。道路を建設すべきと言われていることと、京都府にはお金がないと言われていることは整合性がない。

<要望者>

京都府に道路を建設すべきとは言っていない。交差点改良は道路建設ではない。

<木曾委員長>

要望書に関する質疑をするようにしていただきたい。

<平本委員>

以前はJRに乗車せず、車で来場されると言われていたが、要望の理由2には、馬堀駅でJRに乗り、スタジアムに向かうことが多くなるとされているが、ご自身の中で状況が大きく変わったのか。

<要望者>

最初から、すべての人が車で来るとは言っていない。半分程度と言っていた。今までは王子並河線しかなく、一定の時間帯は一方通行となっているが、北古世西川線ができたことが影響している。現在は暫定供用であり、三宅までの道路が片側通行となっている。この要因が大きい。車がどこを走るかの予見が難しい。暫定供用の状態はスタジアムの供用開始後も続く。踏切箇所の信号だけは設置しないと仕方がないと考えている。

<藤本副委員長>

旧亀岡会館の跡地の駐車場と保津川遊船の駐車場について、何か考えはあるか。

<要望者>

市がつくる駐車場からどうやってスタジアムまで行くのか。また、スタジアム

から保津川遊船の駐車場まで、どこを歩いていくのか等が見えない。高低差があり可能かどうか実態はわからない。

<木曾委員長>

問題は2点ある。まず、スムーズにスタジアムに来ていただき、スムーズに帰っていただくことである。また、交通渋滞にならないようにきっちりと対策をとることである。日常生活において渋滞が起きるのは、市民の理解を得にくいと思うが、どのように考えているのか。

<要望者>

他のスタジアムは、基本的に幹線道路に接しているものであり、住民の日常生活に影響が出ないようにしている。花園では多くの警備員が警備に当たっている。日常生活を送る人が辛抱できる範囲に抑えるように工夫されている。西京極に行くには、阪急やJRがあり分散されており、日常生活に影響がないような設計になっている。幹線道路につながっているのが非常に有効になる。誘導、表示の方法しかないと思う。

<木曾委員長>

交通量調査については、亀岡市も実施しており、間もなく発表されると思う。それを受けて、意見をいただきスムーズな運営をできるようにお願いしていきたい。

14:21

[要望者（意見陳述者（松尾寛治氏）発言席から退席]

<木曾委員長>

本特別委員会に課せられたスタジアムの交通問題等は大事なことである。要望については、特別委員会の活動の参考にし、生かしていきたい。

<齊藤委員>

私と要望者の不適切な発言を精査していただきたい。

<木曾委員長>

会議録については、正副委員長で精査する。不適切な発言は削除することで了解いただけるか。

—了—

<木曾委員長>

そのように取り計らうこととする。

<三上委員>

何度もこのような要望書を出されているのは、亀岡市がしっかりしないといけないということである。また、市議会もしっかりと調査するように言われていることでもある。現状では何かあったときだけ特別委員会が開かれているので、問題意識を持ち定期的に開催し、市に求めていけるような運営をするよう、警鐘を鳴らしていただいたととらえる。

<木曾委員長>

その通りだと考える。正副委員長でスタジアムの今後の課題を整理しなければならないと思っている。その際には、各委員に連絡させていただく。

14:25